



下町の中央に今から約680年前に鎮座し、下町、灰塚及び菊陽町の5地区の氏子さんが、長い間守り続けています。

境内には、樹齢300年以上のムクノキとイチヨウの木が、雄大な姿で出迎えます。毎年、4月初めに申祭り、10月下旬に座祭り、11月23日には、秋祭りと古くからの祭礼が開催されています。

また、50年ごとの年季祭は、稚児行列や踊りなどの催しものがあり、多くのお客様で大いに賑わいを見せます。

本殿を含めた建物は江戸時代に新しく建て替えられ、外観の彫刻や装飾は素晴らしいものです。

また、平成25年に社殿内の絵馬（忠臣蔵討ち入り絵、天井の龍図など10点）が美しく鮮明に復元され、見ごたえ満載です。

地震で被害を受け復旧を目指し、地域でも頑張っておられます。

防災訓練

9月18日（日）午前8時、台風の接近で小雨の降る中、訓練が実施された。訓練であっても一人の所在不明者もなく真剣そのものの訓練模様だった。